

## 第8回環境研究シンポジウム

### 「わたしたちの生活と環境―地球温暖化に立ち向かう―」の開催にあたって

この「環境研究シンポジウム」は、環境研究機関連絡会が主催しています。環境研究機関連絡会の目的は、環境研究に携わる国立および独立行政法人の12の研究機関が、さまざまな環境研究の分野で連携し、それぞれの研究を推進し、さらに、社会の方々へその活動をお伝えすることにあります。

昨年までこのシンポジウムは、「環境研究機関連絡会成果発表会」と呼ばれておりましたが、より広く多くの方々にご参加いただき、環境研究の成果を見ていただくとともに、皆様からのご意見もいただきたいとの考えから、名称を「環境研究シンポジウム」と変更いたしました。12の研究機関の幅広い活動をご理解いただければ幸いです。今回は、名称変更後の最初のシンポジウムとして、「わたしたちの生活と環境―地球温暖化に立ち向かう―」と題しており、多くの方々にご興味を持っていただける内容となっていると自負しております。

すでに多く語られておりますように、近年の人類人口の急増、エネルギー消費の急拡大、二酸化炭素の急増は、地球の長い歴史の中で、初めての現象です。人類の生存にとって、資源の有限性、新しい疾病の出現とともに、地球規模での気候変動は、人類最大の課題の一つとなっております。地球規模の気候変動に立ち向かうためには、私たち人類の叡智を総動員しなければなりません。社会のあらゆる部門、すなわち、生活、生産、業務、輸送などで対応が必要です。あらゆる部門が互いに深く関係しており、すべての局面で各部門が相互に連携しなければなりません。また同時に、地球温暖化が進んだ場合の適応策についても準備しなければなりません。このシンポジウムでは、特に、私たちの生活に焦点をあて、我々の日々の暮らしとその生活にかかわる物質とシステムについて、地球温暖化へ立ち向かうためにどのような技術や適応策が研究されているか、またいかなる新しい最先端の成果が生まれているかをご覧ください。環境研究の最前線をご理解いただくとともに、研究へのご意見とご批判を賜れば幸いです。

独立行政法人国立環境研究所  
理事長 大垣 眞一郎